

新型コロナウイルス感染症対策(ワクチン)に関する意識調査

2021.8.26
生活文化局

- ◆ 調査方法：インターネット調査
- ◆ 調査対象：東京都在住の15歳から64歳までの者
- ◆ サンプルング方法およびサンプル数：性・年齢構成を東京都の人口比率に合わせた割当抽出

1,000サンプル

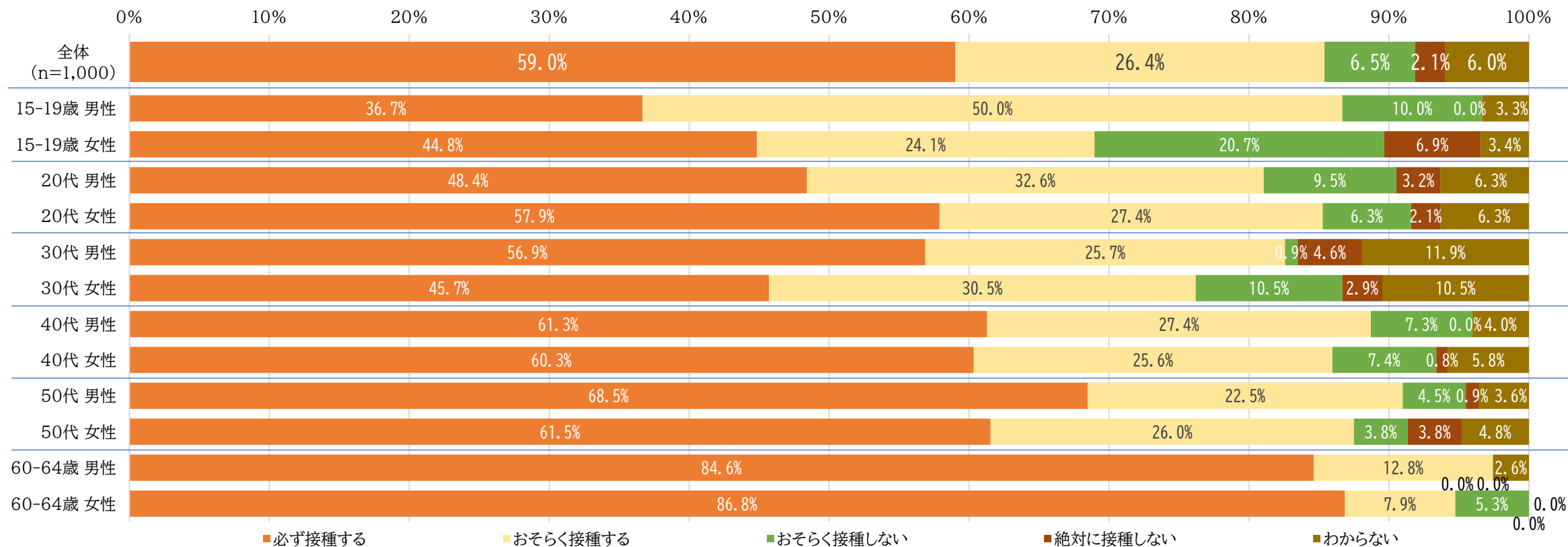
	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60-64歳
男性	30	95	109	124	111	39
女性	29	95	105	121	104	38

- ◆ 調査期間：2021年7月15日～同年7月19日(第4回緊急事態宣言期間中)
- ◆ 調査項目：○新型コロナウイルスワクチンの接種意向
○新型コロナウイルスワクチンに関する知識と情報提供 など

Q1

あなたは、新型コロナウイルスワクチンの接種を受けようと思いますか？

※すでに接種された方は「必ず接種する」をお選びください

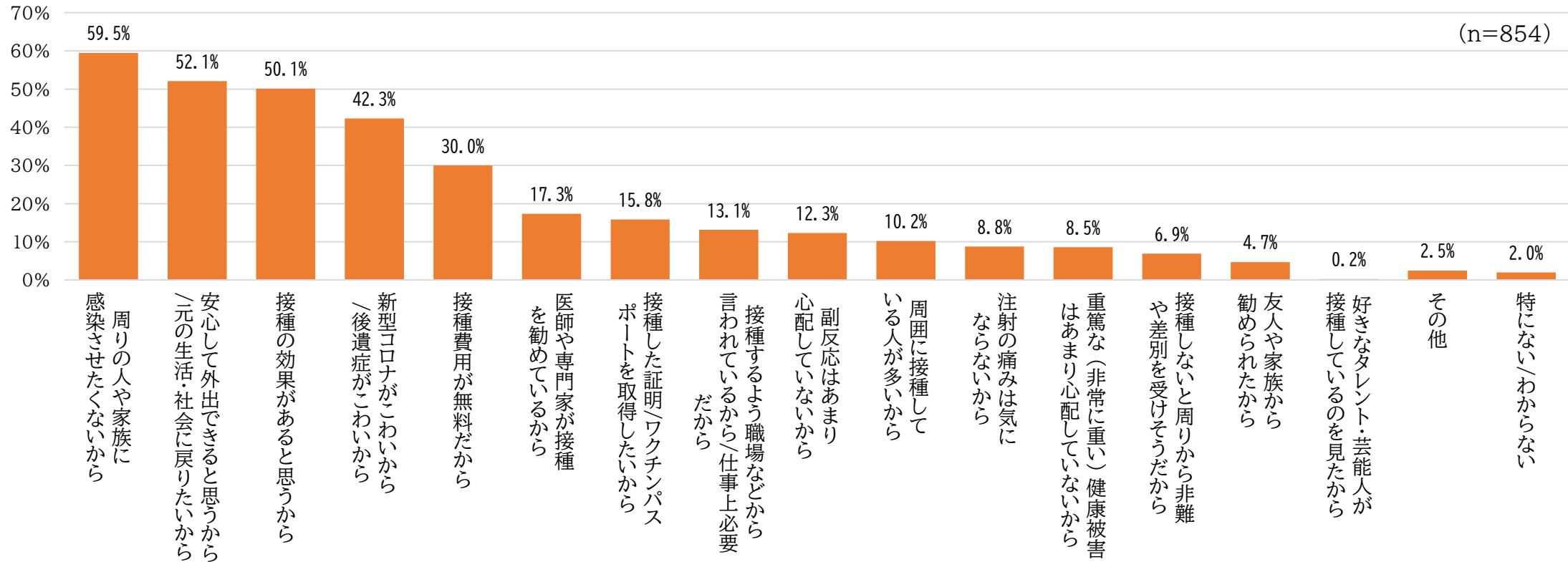


- ◆ 全体として「必ず接種する」が59%、「おそらく接種する」が26.4%、合わせて85%以上が接種意欲を持っている。
- ◆ 年代が上昇するほど接種意欲が高く、40代・50代では90%近く、60～64歳では95%以上。
- ◆ 10代及び30代の女性は接種しない意向が他の年代と比べて多い。

Q2

(Q1で「必ず接種する」「おそらく接種する」と回答した人)

ワクチンの接種を受ける理由は？



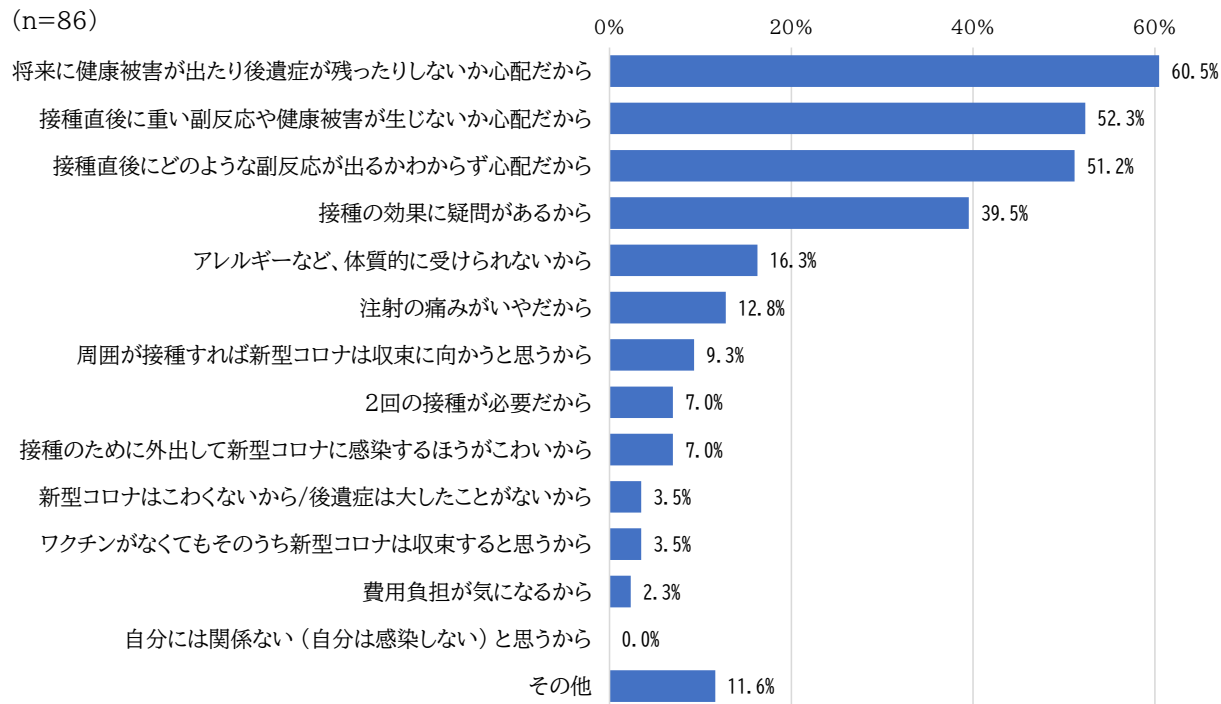
- ◆ 接種による自身への効果を期待だけでなく、周囲や家族の感染を防ぎたい、安心できる生活や社会を取り戻したいとの回答者が多い。
- ◆ 社会全体としてワクチン接種を進めることで、早く元の生活・社会に戻ってほしいという意識の表れと考えられる。

Q3・Q4

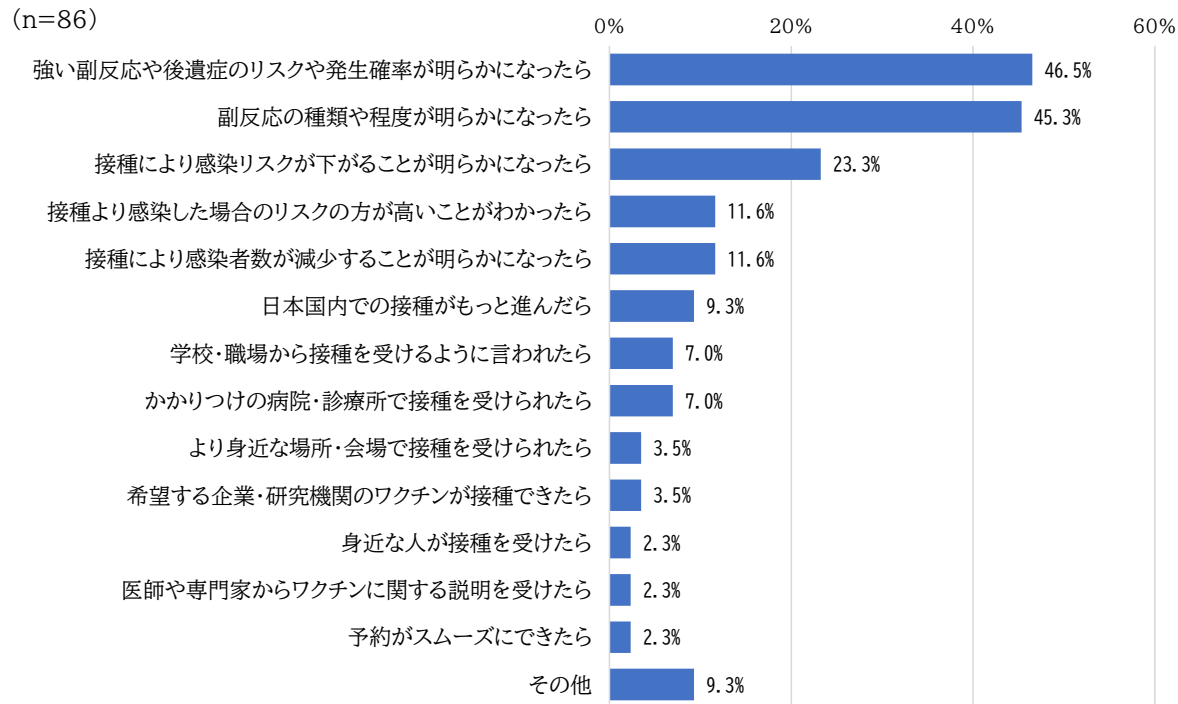
(Q1で「おそらく接種しない」「絶対に接種しない」と回答した人)

ワクチンの接種を受けない理由/どうなれば、ワクチンを接種してもよいと思うか

ワクチンの接種を受けない理由

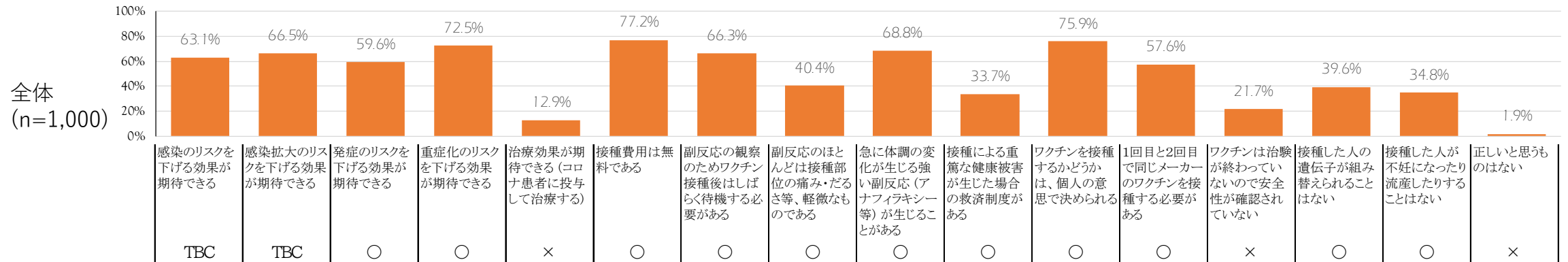


どうなれば、ワクチンを接種してもよいと思うか

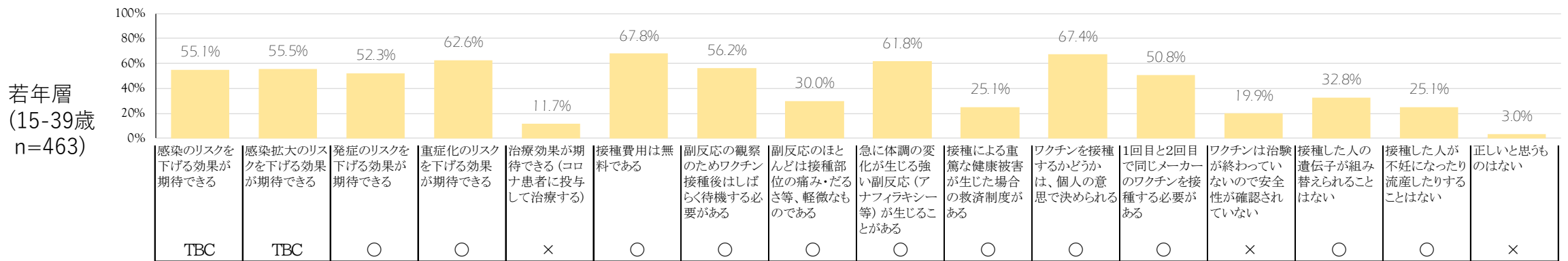


- ◆ ワクチンの副反応や後遺症に不安を持っており、それらが解消されればワクチン接種してもよいと思う回答者が多い。
- ◆ ワクチンの安全性等に関する正しい情報を、丁寧に説明していくことが必要。

Q5 新型コロナのワクチンについて、正しいと思うものはどれですか？



※ TBC: to be confirmed 現時点では効果についての情報は限られており、今後の研究成果を見ていく必要。

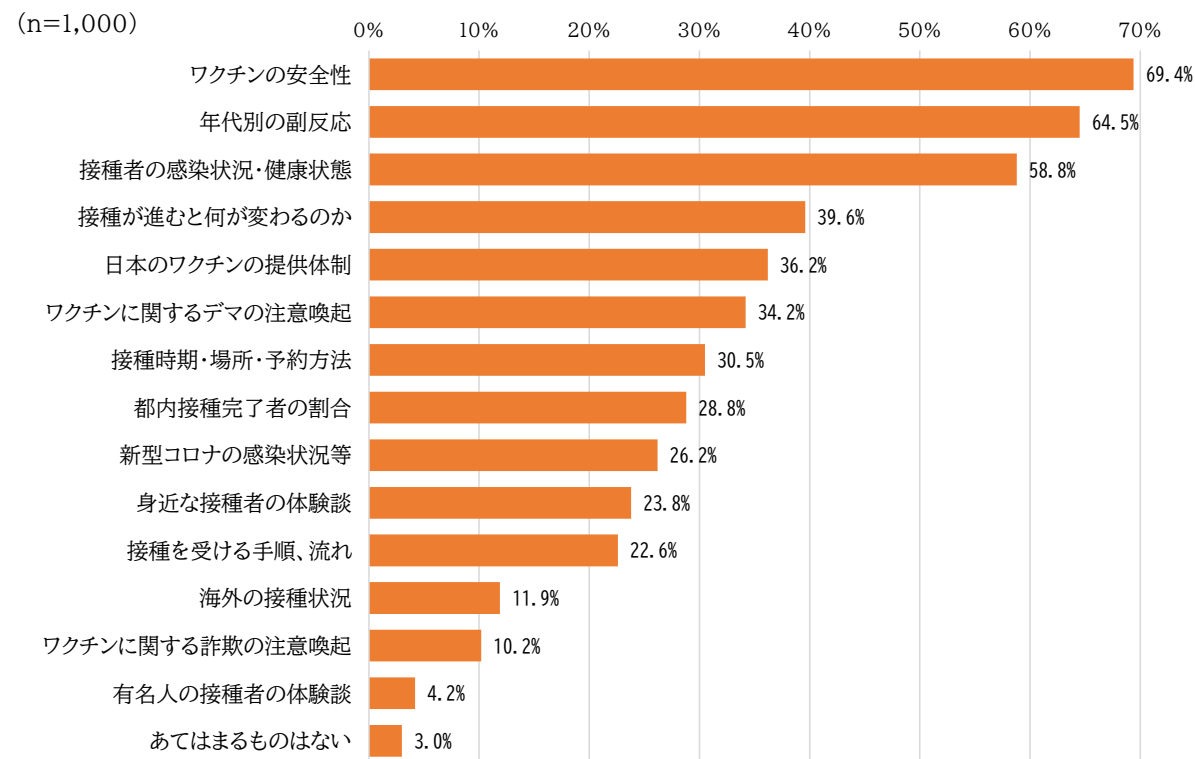


- ◆ 接種により遺伝子が組み替えられる、接種した人が不妊になったり流産したりするとの根拠がない噂について、正しく理解している回答者の割合が低く、不安を感じている層がいると考えられる。
- ◆ 15～39歳の若年層は、全世代の平均よりも、一部の項目を除いては正確に理解している回答者が少ない傾向にある。

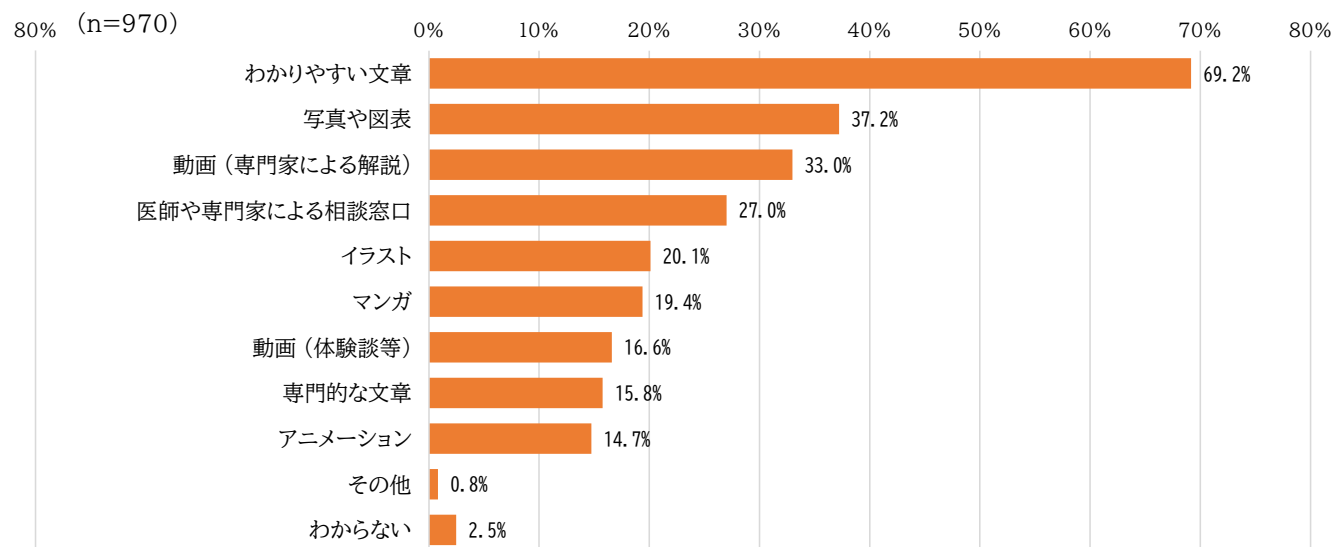
Q6 ワクチンを接種するにあたり、どのような情報が欲しいですか？

Q7 ワクチンに関する情報「Q6回答内容」を、どのような形で提供して欲しいですか？

ワクチンを接種するにあたり、どのような情報が欲しいですか



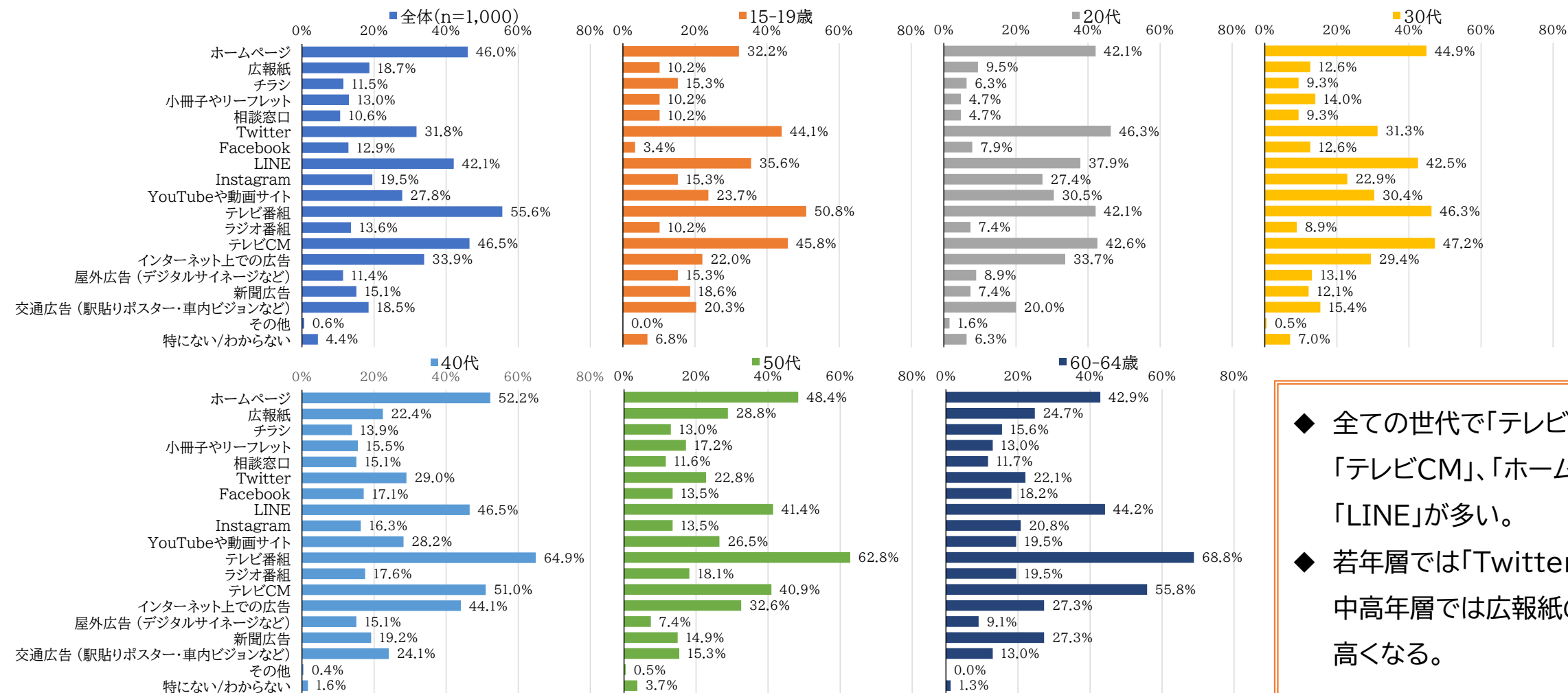
ワクチンに関する情報を、どのような形で提供して欲しいですか



- ◆ 安全性や副反応など、ワクチン接種による健康面への影響に関する情報が求められている。
- ◆ 情報提供の方法については「わかりやすい文章」による提供が最も多く、写真や図表、専門家による解説動画による提供も求められている。

Q8

東京都はワクチンに関する情報提供を強化していく予定ですが、どのようなメディアを通じて情報提供して欲しいですか？



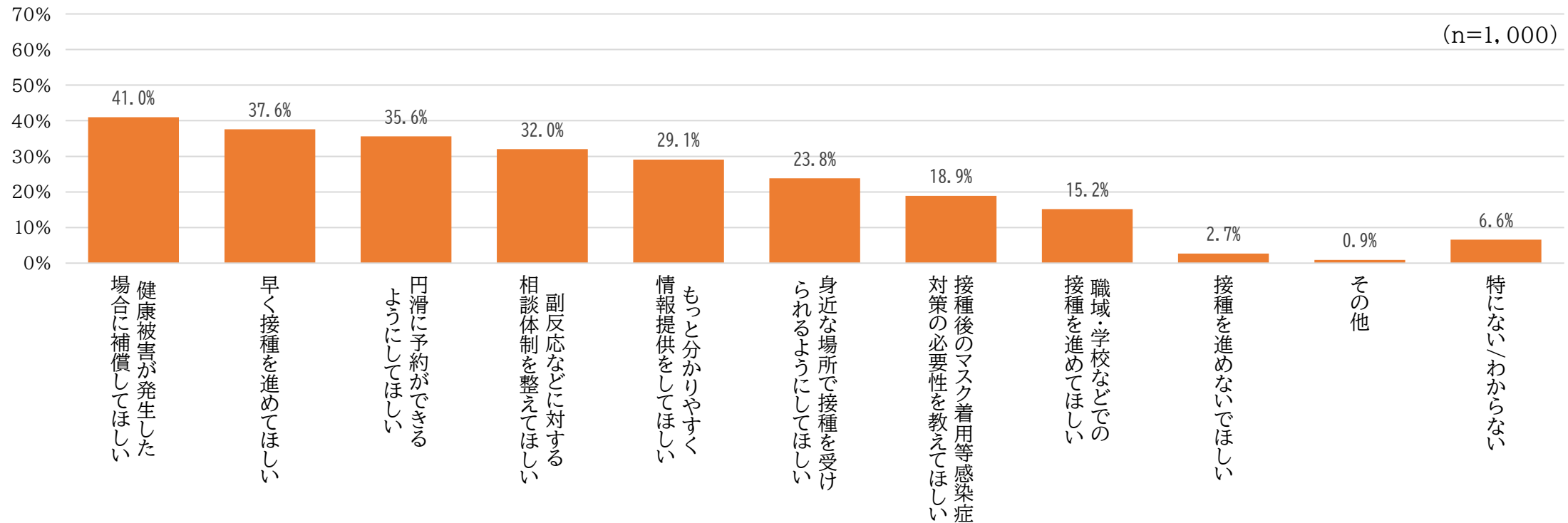
◆ 全ての世代で「テレビ番組」、「テレビCM」、「ホームページ」、「LINE」が多い。

◆ 若年層では「Twitter」が多く、中高年層では広報紙の割合が高くなる。

Q9

ワクチンの接種について、東京都など行政への要望はありますか

※あてはまるものを最大3つまでお選びください



- ◆ 「早く接種を進めてほしい」「円滑に予約ができるようにしてほしい」等、ワクチン接種を迅速・円滑に進めるよう求められている。
- ◆ わかりやすい情報提供や、相談体制の充実を求める要望が多い。
- ◆ 接種による重篤な健康被害が生じた場合の救済制度は存在するが、「補償してほしい」との回答が多い。